

THE WEEKLY NEWS

2013～2014 年度
国際ロータリー会長
国際ロータリー
第 2790 地区ガバナー
第 5 分区ガバナー補佐

ロンD. パートン

関 口 徳 雄
川 名 幸 雄

鴨川ロータリークラブ

会 長 羽 鳥 鋭 一
副会長 脇 坂 保 雄
幹 事 倉 島 圭 子
クラブ広報委員長 古 市 一 雄



今週のプログラム
財団補助金について

次週のプログラム
会員卓話

例会日 (火) 12:30～13:30
例会場 鴨川シーワールドホテル

事務所 〒296-0001 鴨川市横渚 697 伊藤胃腸科クリニック内
URL <http://www.kamogawa-rc.com> TEL・FAX 04-7093-2001

例会報告 2013年9月13日

12:30

1. 点 鐘 会長 羽鳥鋭一
2. ロータリーソング
3. 会長挨拶 会長 羽鳥鋭一
4. 歓迎のことば 本多利夫
5. マニトワック代表あいさつ
ローリー クロフォード 様

6. バナー交換
 7. ニコニコタイム
 8. 点 鐘
- 13:30

会長あいさつ 会長 羽鳥 鋭一



マニトワック市のロータリアンの皆様、ようこそ鴨川ロータリークラブの例会に参加していただきまして大変ありがとうございます。そして、マニトワック市と鴨川市の姉妹都市を締結 20 周年、本当におめでとうございます。

鴨川ロータリークラブは、1961年2月に館山ロータリークラブがスポンサークラブとなりまして、発足しました。今年で、52年を経過し、半世紀以上の活動歴を持つクラブです。現在のメンバーは、34名ですが、女性会員が

6名と多く国際奉仕活動に大活躍しています。

そして、メンバーの中には、両市の姉妹都市締結の発足当時から関わっていた会員もおります。本多利夫会員は、当時の鴨川市長であり、古市一雄会員は、市役所職員として本多市長の下で、国際交流の実務担い、育て、推進してきた会員であると聞いております。

また、鴨川ロータリークラブは、国際ロータリー第2790地区に所属しておりますが、国際ロータリークラブは、マニトワック市のあるウィスコンシン州の隣、イリノイ州シカゴ市で、1905年ポール・ハリス氏ら仲間4名で発足したと伺っております。そして、私達の住む千葉県とウィスコンシン州は、姉妹州の関係にあります。つまり、千葉県とウィスコンシン州は、姉妹州、そして、鴨川市とマニトワック市は、姉妹都市、国際ロータリーの発祥地は、隣のイリノイ州シカゴ市という関係にあり、そんな不思議な縁を持っている両クラブのことを考えると、太平洋を跨いで、距離は遠くにあります。心を分かち合う共通の友達であり続けたい強く感じたところでもあります。

この例会訪問を契機にして、両クラブの末永い交流と益々の発展を祈念すると同時に、マニトワック市、鴨川市の姉妹都市交流の充実、発展を心からお祈り申し上げます。

そして、2020年に東京オリンピックが決まりました。7年後といってもあっという間です、また東京で会いましょう。そして鴨川でも会いましょう。アメリカンフットボールのシーズンが始まります。グリーンベイパッカーズの活躍をお祈りいたします。

歓迎のことば

本多 利夫



紹介を頂きました本多利夫です。

マニトワック訪問団の皆さん、マニトワックロータリークラブの皆さん、ようこそ鴨川ロータリークラブにお越し頂きました。私からも心からご歓迎申し上げます。

只今、羽鳥会長さんからお話がありましたように、鴨川ロータリークラブは 1961 年に創立されまして、今年で 52 年という長い歴史と輝かしい伝統を有したクラブであります。私はまもなく 74 歳の誕生日を迎えますが、鴨川ロータリーメンバーの友情に支えられ、69 歳の高齢で入会を許可された新人会員であります。

アメリカの詩人サミエル・ウルマンは「青春」という詩の中で、青春とは人生の一時期を申すのではなく、心の様相、つまり夢、希望、勇気を失わない限り人はいつまでも青春を持ち続けると申されております。これからも研鑽を積み、親睦を深め、奉仕活動に邁進してまいりたいと存じております。

交通、通信手段の発達により、我々の住む地球は日に日に狭く感じるようになってまいりました。また、グローバリゼーションの進展により異文化を理解し合い、世界で活躍する人材の育成が求められておるなか、1993 年米国ウィスコンシン州マニトワック市と鴨川市が国際姉妹都市の提携を結び、今年で 20 周年を迎えました。今日まで数度にわたる市民訪問団、中・高校生、市職員、音楽活動グループの相互派遣、両市の児童生徒による絵画作品の交換等々、幅広い分野において積極的な交流活動が行われてまいりました。これもひとえにマニトワック・鴨川両市民の理解、協力、支援の賜であります。今回もニコルズ市長さんをはじめ、40 名を超えるマニトワック市民をお迎えし、また 10 月に

は長谷川市長はじめ、多くの市民がマニトワック市を訪問することになっております。

これからも、各種交流事業を通じて両市の関係がより一層深まり、両市民の友情の絆が更に深化されますよう祈念いたします。

結びに、2 年 6 ヶ月前に東日本大震災に見舞われ、未曾有の大災害に遭遇しました。幸いにして、当地域は大きな被害がございませんでしたけれども、マニトワック市長さんをはじめ、市民の皆様からお見舞い、激励のお手紙を頂戴しました。あらためてお礼を申し上げます。また、復興を激励する意味で、米国をはじめ世界の国々のご支援のもとで、7 年後には東京オリンピックの開催が決定しました。

日本はこれから米国との絆をより一層深め、世界の平和と経済の再建に力強く歩み出すものと存じます。

マニトワック代表あいさつ

ローリー クロフォード 様



◎ニコニコボックス

氏名	メッセージ
羽鳥鋭一	記念すべき例会
本多利夫	歓迎スピーチ
脇坂保雄	ホームステイ

◎出席報告 出席免除会員 3 名

例会日	会員総数	出席	欠席	M. U	出席率
9 月 13 日	3 4	2 3		3	81.3%
9 月 3 日	3 4	1 7		8	確定 75.7%